

# CASBEE® 広島

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレサンスロジェ観音本町リバービル	階数	地15F
建設地	広島県広島市西区観音本町1丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	135 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2022年11月10日
敷地面積	984 m <sup>2</sup>	作成者	日企設計
建築面積	388 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,495 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 55% (75.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 55% (75.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 55% (75.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境 (スコア=3.6)

音環境	3.6
温熱環境	3.7
光・視環境	3.8
空気質環境	3.4

#### Q2 サービス性能 (スコア=3.2)

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内) (スコア=2.7)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー (スコア=3.2)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (スコア=3.1)

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 (スコア=3.5)

地球温暖化	4.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 2.6	スコア = 3.1
<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級4確保 / / 躯体と仕上げ材が容易に分別可能 / ノンフロン断熱材の採用 / 可能な限りCO <sub>2</sub> の排出量を低減	<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> / 適切な駐車・駐輪台数の確保	<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> 住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3取得予定 / 空調・給排水管の期待耐用年数40年以上を採用 /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される